

第5回 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 会議録（要旨）

開催日時	令和6年2月2日（金）14：00～16：00
開催場所	湖西市健康福祉センター「おぼと」
出席者	（委員）13名 （オブザーバー）3名 （事務局）6名 （受注者）2名
内 容	
1 開会	事務局 司会あいさつ、参加状況の確認、資料確認
2 環境部長あいさつ	
3 会長あいさつ	
4 議題	<p>(1) パブリックコメントの結果と対応について</p> <p>塩 澤：学校の授業で地球温暖化についてスライドを作成したが、難しい言葉が多かったため、これからわかるように努力をしたい。</p> <p>木 本：パブリックコメントの中でも、太陽光については批判的な意見が多かった。動物の糞尿を使ったバイオマス発電を行えばよいのではと考えている。</p> <p>板 倉：太陽光のデメリットは考えるべき。現在の太陽光パネルのほとんどは中国で作られている。中国の利とならないことが必要。適切に計画実行をお願いしたい。</p> <p>佐原司：「太陽光発電の処分方法が確立していない」や「太陽光パネルを作る過程で二酸化炭素を多く排出しているからエコではない」といった反対意見に対して、分かりやすい回答が出てこないと感じるので、丁寧な説明が必要と感じた。</p> <p>原 田：2050年ゼロカーボンシティを目指す上で、パブコメで上がってきた反対意見に対して、丁寧な説明をしながら、お互いに理解を深めた上で推進しなければならないと感じた。その中でできる限り勉強し、一番いい方法を模索していきたいと思った。</p> <p>佐原克：今後計画に沿って実際に進めていくことがいかに大変かというところを感じている。湖西市は人口6万人弱の市でありながら、パブリックコメントにはたった6名からしか意見が寄せられなかったことから、誰に向けて発信をして巻き込んでいくのが今後の課題と感じた。</p> <p>川 上：計画の中で「情報発信」が含まれていたが、市民が計画について理解して取り組んでもらうためには、「情報発信」の工夫が必要である。</p> <p>川 島：我々が企業に向けて行った省エネに関するアンケートによると、取り組んでいる企業は少ないということであった。現状、カーボンニュートラルに向けて取り組んでもらうことは難しいかもしれないが、2030年近くになると、やらざるを得ない環境になると思う。</p> <p>服部貴：今後、湖西市で暮らしていく子どもの意見を取り入れるべき。我々の時代と違って、小さい時から環境教育を受けて、いろいろな視点を持っている。様々な意見を取り入れつつ活動をしていくべきであると思う。</p> <p>二 橋：「災害時でのEVは役に立たない」といった意見があるが、うまく導入すると問題は解決するのではないかと考える。計画を立てて問題点を改善していただければと思う。</p> <p>榎 原：運輸業界では運転手の人手不足が問題であり、鉄道での輸送にシフトが進んでいる。一方、タクシーのアプリの普及が進展している現状を踏まえると、目的地と時間がマッチした人を乗せ合わせることで、コスト削減や輸送効率の向上が期待できるのではないかと。</p> <p>若 田：森林やアマモの保全といった湖西市の地域特性がしっかり活かされている施策になってお</p>

り、これらを着実に進めて頂きたいと思った。

丸 山：これから何十年と取り組みを続けていく中で、その時の技術革新や計画段階と違うことが起きてくるかと思う。そのようなことに対して柔軟に対応していただけるように、市民の皆様を含めた定期的なモニタリングの中で意見をいただくことで、よりよいものになるのではないか。

遠 藤：目標に向けて太陽光を導入することを「絶対」ではなく現状では「ベター」な施策といった位置づけで発信していくとともに、「森林吸収源の確保」や「アマモの保全」や「ペロブスカイト」といった、他の技術を見据えた施策が取り込まれていることがよいと思った。弊社でも排出量の算定を行うツールを無料で提供し、「見える化」に基づいた取り組みをしているので、一緒に取り組んでいけたらと考えている。

服部乃：高校生が参加しているというのは、他の市町村にとっても参考になったのではないかと。環境教育を含め、「どのように分かりやすく伝えていくことで、皆様の行動変容にどう繋がっていないといけないのか」という点が大事だと感じた。

(2) 今後の計画推進等について

村 山：計画素案について、2月26日開催の環境審議会の後、3月12日に最終案を市長に提出し、役所内で調整を行った後に、3月中にホームページに公表する流れになる。
令和6年度の協議会について、「気候変動事業計画の策定」と「令和6年度の施策の実施」の2つのテーマを議題として開催を予定している。
今後、施策の進捗管理や温室効果ガスのモニタリングを年1回実施する予定だが、令和6年度については実行計画の公表後間もないため、令和7年度以降に実施させていただく。

(3) その他

佐原司：旅客自動車と貨物自動車の区分について分かりづらいので、括弧書きを追記していただきたい。

近 藤：投票の結果、「～カーボンニュートラルが描く湖西の未来～」を計画のキャッチフレーズに決定した。

5 閉 会

(別紙) 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 委員名簿

業種	所属等	職名	氏名	出欠
教育・学術機関	豊橋技術科学大学	副学長 電気・電子情報工学系 教授	滝川 浩史	○
金融	静岡銀行	湖西支店・新居支店長	遠藤 威	○
	遠州信用金庫	湖西支店長	耳塚 和也	×
電力	中部電力株式会社	事業創造本部部長（事業推進担当）	丸山 忠宏	○
ガス	サーラエナジー株式会社	カーボンニュートラル推進部長	瀧本 修	○
公共交通機関 (鉄道・バス・タクシー)	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役運行営業部長	榊原 正之	○
農業・ 漁業協同組合	とぴあ浜松農業協同組合	湖西地区支店地区統括部長	北谷 英久	×
	浜名漁業協同組合	代表理事組合長	渥美 敏	×
商工会	湖西市商工会	事務局長代理	二橋 和久	○
	新居町商工会	事務局長	渥美 博之	×
市内事業者 (製造業・物流業)	プライムアースE Vエナジー株式会社	経営戦略室 室長	服部 貴史	○
	有限会社浜名樹研	代表取締役社長	佐原 克哉	○
	株式会社新光製作所	代表取締役社長	原田 高久	○
	株式会社笠子流通	代表取締役社長	佐原 司郎	○
地域住民	市民代表	湖西市自治会連合会会長	板倉 福男	○
	消費者代表	特定非営利活動法人 ママライフバランス 副理事	大倉 昌子	×
	湖西高校	3年生	木本 和輝	○
		2年生	塩澤 陽斗	○
新居高校	2年生	ルガ クラレンス	×	
	2年生	石原 碧	×	
オブザーバー				
静岡県	企業脱炭素化支援センター	イノベーション推進部	川島 一貴	○
	地球温暖化防止活動推進センター	ゼネラルマネージャー	服部 乃利子	○
環境省	関東地方環境事務所	地域脱炭素創生室長	増田 大美	×
財務省	東海財務局静岡財務事務所	総務課長	川上 正人	○
湖西市環境審議会	湖西市環境審議会 静岡県環境資源協会	湖西市環境審議会会長 静岡県環境資源協会 専務理事	平井 一之	×